



# 市場きらきら公園の防災施設の紹介

9月1日は**防災の日**です。そこで今回、防災施設が設置されている市場きらきら公園の紹介をしたいと思います。この公園は鶴見区市場西中町づくり協議会が策定した**防災まちづくり計画**(※)の中で、防災機能を有する公園として位置づけられており、多くの防災施設が設置されています。

## ■ 災害用マンホール

一般的なマンホールと同じに見えますが、災害時には蓋を開けてトイレとして使用することができます。  
マンホールの上に簡易型便器やテントを設置して使用します。



## ■ 耐震性防火水槽

防火水槽は火災時に消火を行うための水を貯めています。水を使用する際は、消防車のホースで水を汲みあげます。また耐震性能もあり、地震がきても安心です。



## ■ 防災倉庫

自治会が区役所に申請し公園内に設置します。  
※公園施設ではありません。

自治会が公園内に設置を要望されることがありますが、市場きらきら公園には公園愛護会の倉庫(清掃道具のみ)の倉庫のみ設置しています。



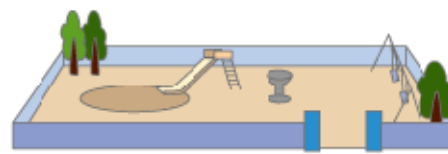
## ■ かまどスツール

通常は一人用のスツールとして使用していますが、災害時はかまどとして活用することが可能です。

※ 防災まちづくり計画は横浜市地域まちづくり推進条例に基づく地域プランとして、横浜市より認定を受けています。

## いつとき避難場所

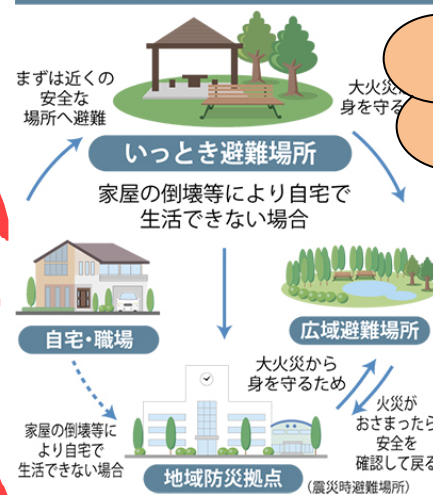
周囲の様子を見たり、次の避難場所(地域防災拠点、広域避難場所など)に移動する場合に地域住民が集結・待機する場所です。



## 「いつとき避難所」をご存知ですか?

- ・身の安全を確保するために一時的に避難する公園や空き地等です。
- ・地域防災拠点や広域避難場所へ避難する前に様子を見たり、避難するために集まる場所です。
- ・自治会、町内会等が地域で安全だと思う場所を決めて指定しています。

## 避難場所と役割



うちの家族の「いつとき避難場所」は家に近い「わっくん公園」にしよう！  
はい♪家族で事前に確認しておくことが大事だね☆

どこの「いつとき避難場所」を使うかは、自分たちで決めるって事なんだね！



秋は運動会・秋まつりと公園を利用する機会が多いですが、秋は防災の季節でもあります。皆様もこの機会に防災について考えてみてはいかがでしょうか。

今年の12月1日にサルビアホールで開催する**公園愛護会のつどい**では、鶴見区役所の防災担当が災害時の備えについて講演を行う予定です。参加は無料ですので、公園にご興味のある方、公園愛護会のボランティア活動にご興味のある方はぜひご参加ください。  
ご不明な点は下記の鶴見土木事務所までご連絡ください！

## 公園愛護会等コーディネーターからのお知らせ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/life/town/doboku/aigokainews.html>

(鶴見区公園愛護会通信 むさし バックナンバー URL) です。ご覧ください。

Vol. 24	2017 秋	鶴見土木事務所	所在地
発行年月日	2017. 9. 17	〒230-0051	
発行者	鶴見土木事務所	横浜市鶴見区鶴見中央3-28-1	
	下水道・公園係	Tel 045 (510) 1673~1674	
	公園愛護会等コーディネーター	河野	

## 落ち葉のプール知っていますか?



秋になると落ち葉がたくさん積もってきます。落ち葉の片づけは、どこを片づけてもなかなか終わらない厄介な作業ですが、子供たちにとっては落ち葉も、遊び道具になります。写真で子供たちが落ち葉で楽しんでいるように見えませんか？プールと言っても夏の水ではなく、秋の「落ち葉」で遊ぶプールのことでした。

秋のプール！  
楽しみだね♪

